

2010 年度活動計画(案)

1. 全般的な活動計画

(1) 本部 2010 年度事業計画への対応

会報「ナルク」2 月号トップ記事として、上記事業計画が 17 項目に亘って発表されたことは、ご存知の通りです。その中から本年取り組む重点課題を次の 4 点に絞りました。

A 独り暮らし高齢者への電話・訪問活動の推進

昨年度から取り組んでいます「声かけボランティア」の早期実現をはかり、独り暮らしの会員や希望する会員への見守り活動を進めます。具体的には(2)の B を参照下さい。

B 時間預託活動・奉仕活動・同好会・クラブのバランスの良い活動の推進

時間預託活動の、福祉施設支援ボランティアについては、会員相互扶助ボランティアに支障のない範囲で、拡大支援をしていきます。

奉仕活動については、奉仕活動マニュアルが整いましたので、外部奉仕活動への積極的な参加を勧めていきます。

同好会・クラブ活動については、既存の文化・スポーツ活動にとらわれず、新しいクラブの開設も期待します。同好の士の親睦活動をきっかけにした各種ボランティア活動への展開に結び付けます。

C 時間預託管理ソフトの開発協力

本部が企画している時間預託管理ソフトの開発については、利用する拠点の立場で、現在利用しているソフトの問題点の解決を含め積極的に協力していきます。

D 拠点間連絡会議の定期開催

昨年度発足した「NALC 北河内地区拠点間連絡会議」は、各拠点持ち回りで継続実施する中で、情報の交換・相互啓発・課題解決・共同参加等、生きた連絡会を心がけていきます。

(2) 拠点として取り組む課題

A 「地区会」の充実

2004 年に発足した地区会も 6 年を経過しました。一部参加の少ないところもありますが、各地区ともいろいろ工夫を凝らしての開催が定着しつつあります。

地区会設立の原点に戻り、地域の会員の顔が見える中で、お互いに連帯を深めているか、会員相互の親睦は図られているか、コミュニケーションは図られているか、心温まる助け合いはできているか、緊急事態のたすけあいができるか、など、会員がお互いに協力し合って常に生き生きと活動できる地区会を目指します。

本年度は、各地区に運営委員 1 名以上配置することができますので、今後の「天の川クラブ」の活性化のため、運営委員・地区世話人・手配り担当との連携をはかり、地区会のあり方について検討することとします。

B 「声かけボランティア」のスタート

「天の川クラブ」の独り暮らし会員のほか希望する会員を対象に、何か異変が起きたときに、少しでも早く対応できるよう、見守りネット検討委員会で検討を進めてまいりましたが、「声かけボランティア」活動として、いよいよスタートさせます。

C 地域各団体・自治体との連携

地域の諸団体・NPO・ボランティア団体や自治体との連携を密にして新しい地域の公共を実現するため、「渉外」担当を充実させ「天の川クラブ」の新たな活動の拡大について検討を進めていきます。

2. 時間預託活動

担当 近藤秀子・三津輝雄

会員相互扶助活動の家事介助・庭の手入れ・ハウスヘルパー・送迎・パソコン指導などの支援は高齢者の在宅生活に欠かせないものです。現在、自立しておられる会員が多いことは喜ばしいことですが、会員の高齢化に備えて、利用依頼がもっと気軽にできるよう地区会などで積極的なPRをします。また「時間預託ボランティア提供意向調査票」を充分に活用して提供者の偏りの是正に努めます。

福祉施設活動は、現在受託している3施設については、本年も継続して活動いたします。昨年実施しました、「時間預託ボランティア提供意向調査票」で活動可能会員が多くおられるとわかりましたので、会員の活動機会を増やすことが必要であること、また活動時間の増加を図ることも念頭に入れ、福祉施設からの時間預託としての活動依頼があれば「天の川クラブ」の活動として相応しい内容なら会員相互の時間預託活動と並行して、前向きに取り組んでまいります。

(1) 会員相互扶助活動

家事介助支援は、家事全般（買い物・掃除・食事づくり・話し相手・散歩の付き添いなど）の提供をします。要望に応えられるよう技量のレベルアップを図ります。

庭・植木の手入れは、会員に代わり庭木の手入れをします。作業内容別に提供者資料を作成し、依頼内容に対応できる体制づくりを行ないます。経験豊富な提供者を中心に、余裕のある状況で活動し技術向上がなされるようなコーディネートを心がけます。

ハウスヘルパーは、広く浅くボランティア提供をして頂くために、DIY（日曜大工）ができる会員の掘り起こし、会員の専門スキルを把握、その上で提供の有無を明確にします。

送迎は、外出・移動の困難な会員の行動範囲を広げ、生活の向上を図る支援ですが、やや減少傾向にあるため、会報や地区会で送迎の呼びかけをして利用者の増加を目指します。

パソコン指導は、習得したい会員に助言・指導サービスを行ないます。利用者のニーズに合わせて、パソコンに関するさまざまな指導・助言及び電話による単発ヘルプや遠隔操作による指導もします。

生活研究アドバイザーは経済状況悪化により、本年度も見込めない様子です。

その他技能提供ボランティアは、枚方市の受託事業「生きがい創造学園」の中で提供活動を行います。

(2) 福祉施設支援

2010 年度の活動目標は、3 か所の施設で年間 2,930 点です。「サンセール香里園」は、習字クラブ・お茶会クラブ・脳の健康教室・生け花・おやつ作りなどの活動で 770 点、「グループホーム花梨」は習字の指導 50 点、「エイジフリー・ライフ星が丘」は、カフェ星が丘・手芸教室・庭の手入れ・リビングの手伝い・話し相手などの活動で 2,110 点です。活動内容や活動時間は昨年度と大きく変わりないと予想しています。

3. 奉仕活動

担当 三津輝雄

2010 年 4 月からの奉仕活動は「天の川クラブ」がコーディネートした活動に限定されています。個人やグループから申請を受け運営委員会で審査しています。

本年度の計画は、昨年度計画比 16%増となっています。施設への活動が大きく増加しています。要因は、行事への参加者が増えること、文化活動部の『遊びの玉手箱』、「楽しいオカリナ」メンバーの施設での演奏などです。子育て支援活動は、子供安全見守り隊の活動が主ですが、新しい企画を検討する必要があります。環境美化活動は「クリーン・アダプト」への参加者が増えると予想しています。今年度から「声かけボランティア」が新規の奉仕活動として始まります。高齢化する社会への対応として真剣に取り組んでいかねばなりません。ナルク活動は、活動区分別交流会の計画が大きく増加しています。事務局活動も事務量の増大に対応し活動時間が増加する計画です。

4. 事業活動

担当 野村文夫

今年度の本部方針の 2 番目の項目に「新しい公共を地域でつくっていこう」が挙げられました。「天の川クラブ」では「市在宅生活援助」、「生きがい創造学園」、「生涯学習情報プラザ」とすでに三つの受託事業があり「縁の下の力持ち」としても「天の川クラブ」の本来の活動を支えています。これからの事業にさらにしっかりと根を張って行き、発展させることが大切です。

(1) 在宅生活援助受託事業

軽度生活援助事業の在宅生活援助事業への展開に伴って事業の幅が広がり介護保険サービスでは対象外の「部屋の模様替え」などの軽易な生活援助を年間 2 回まで行えるようになり、活動の広がりがありました。

今年度はこの新たな活動への更なる対応を押し進め提供点数 600 点、提供会員数は 80 名程度を確保する予定です。

(2) 生きがい創造学園受託事業

講座の内容を市民の要望にあわせるため次のように講座を行います。

- ・ 通常講座 17 講座を開講
- ・ 短期講座 1 (水泳教室 1 : 8 回、太極拳 : 10 回)

- ・短期講座 2（水泳教室 2：8 回、シニア体操：10 回）
- （3）生涯学習情報プラザ受託事業
今年度の活動のポイントは次の通りです。
 - ・ミニ体験講座を継続実施し、パソコン未体験者への入門アドバイスを行います。
 - ・レイアウト変更等による不適切行為の監視と排除を進めます。
 - ・行政と連絡を密にして、パソコンの適切な利用環境を整備していきます。

5. 文化・スポーツ活動

担当 石西正子

本年も文化活動 8 クラブ、スポーツ活動 4 クラブの計 12 クラブが活動を行い、活動を通じて会員の交流と親睦を深め、心身の健康と若さを保持し、会員の生きがいに寄与していくこととします。また、活動可能なクラブにおいては、昨年と同様地域においても活動し地域に貢献をしていくものとします。

また、会員の中には多方面にわたり、得意な趣味をお持ちの方が多く居られます。お世話いただける方は、是非同じ趣味を持つ仲間作りから始めて下さい。そして継続的に活動できる仲間の賛同の下、新しいクラブを立ち上げて下さい。

「天の川クラブ」に入会されて、現在活動をされていない方や、新入会員の方々の活動の第一歩として先ず、自分に合った文化・スポーツ活動に参加されることをお勧めします。

交流と親睦を図る中から、良い友達と仲間作り、生きがいとやりがい、そして元気を自らの手で掴んでいきましょう。

6. 会員活動促進

担当 庫本方明

会員数は 800 名となりましたが、できるだけ多くの会員の方が気軽に活動できる環境を整える意味で、会員相互の顔が見える場作りのための各種会合・イベントや各種のレベルアップ研修会を実施します。

一部実費補助も行いますので、どんどんご参加下さい。気軽にボランティア活動にご参加いただくきっかけづくりや、ボランティアを気軽に利用していただくきっかけづくりに積極的に利用してください。

（1）地区会

年 2 回の実施は各地区工夫を凝らしての開催が定着してきましたが、参加者の少ない地区もあり、一層の工夫が必要です。

また「声かけボランティア」の実現に際しての地区会の役割はおおきいものがあり、地区内での諸問題は地区内で解決できるよう連携した活動を期待します。

（2）会員研修

昨年に引き続き、会員のボランティアとしての知識・技能の向上を図るため、シニア介護サポーター養成講座・コーディネーター養成講座のほか、新しくミニ講習会を企画予定ですので、多く方のご参加をお待ちしています。本部で開催されるコーディネーターレベルアップ研修・リーダー養成講座へも参加しましょう。

(3) イベント

今年の『秋のつどい』は、交野拠点より単独開催の提案があり、枚方拠点単独で実施することにします。日帰り旅行も昨年に引き続き実施します。準備段階から積極的なご参加をお待ちしています。

(4) 活動区分別交流会

「天の川クラブ」には約 40 の活動区分があります。同じ活動をしていても、仲間同志の意思疎通は取りにくいものです、活動区分別の交流会を利用して、お互いのコミュニケーションを深め、気楽に・楽しくボランティア活動を進める交流会としましょう。まだ交流会を開催していないグループは是非開催してください。

(5) 誕生月会

昨年 9 月より開催している誕生月会は、今年も引き続き実施します。世話役の工夫で毎回楽しい出し物やゲームを企画しています。会報により事前に連絡をしますので、できるだけ多くの会員のご参加をお願いします。

(6) 天の川サロン

毎月第 3 金曜日に事務所で、楽しく語り合ったり、手芸などを教え合ったりして、お互いに楽しむ場所として「天の川サロン」を設けましたが、本年からはこれを発展拡大して、会員活動促進の一つとして運営することにしました。気楽に参加下さい。

7. 事務局活動

担当 和田亮吉

事務局業務の現状をみると、多くの方々の協力を得ながら十数名の事務局スタッフが業務に当たっています。その多くは月末から翌月の前半に集中しています。

会員の増大に伴い各種活動も活発になり処理すべき業務も増大し、継続性・持続性・確実性が求められています。

今後も事務局スタッフの充実を図るとともに、会員の皆さんが楽しく集える事務所を目指していきます。